

高性能減水剤

ポールファインMF

ポールファイン MF は、高いセメント分散性により、一般強度から中強度、高強度まであらゆるコンクリートに適用できる高性能減水剤です。

特長

- ナフタレン系等の減水剤と異なり、コンクリートの打肌面が美しく仕上がります。
- 優れたセメント分散力により、高度の減水性を発揮します。
- 非空気連行性の減水剤であり、使用量を増加させることにより容易に減水性能を向上できます。
- 蒸気養生時間の短縮、燃費の節約が可能になります。
- コンクリートの凝結を促進する効果があり、蒸気養生時の前置き時間を短縮できます。
- 所要の初期強度が短期間で得られます。

主成分・物性

| 主成分 | 外 観 | 密 度 (g/cm ³ , 20°C) |
|------------|------|-----------------------------------|
| 含窒素型スルホン酸塩 | 褐色液状 | 1.09~1.17 |

使用量・使用方法

- ポールファイン MF の標準的な使用量は、セメント質量(粉体)に対して 1.0~3.0%です。目標の性能が得られるように試し練りにて最適使用量を決定してください。
- AE コンクリートにする場合には、当社の AE 剤を使用し、所要の空気量に調整してください。
- コンクリートの練混ぜ時に、単位水量の一部としてご使用ください。

JIS A 6204 「コンクリート用化学混和剤」による試験結果(例)

| 品質項目 | | JIS A 6204 による 規定値 | 試験値 |
|----------|---------|-----------------------|-----|
| 減水率(%) | | 12 以上 | 12 |
| 凝結時間(分) | 始発 | +90 以下 | -30 |
| | 終結 | +90 以下 | -30 |
| 圧縮強度比(%) | 材齢 7 日 | 115 以上 | 122 |
| | 材齢 28 日 | 110 以上 | 116 |
| 長さ変化比(%) | | 110 以下 | 98 |

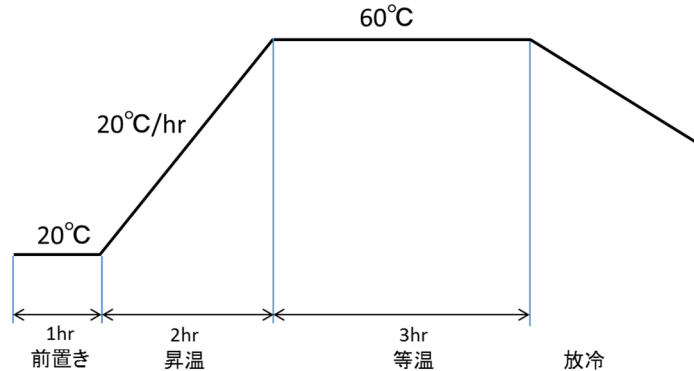
コンクリート試験結果例

| 使用量 (C×%) | W/C (%) | s/a (%) | 単位量 (kg/m ³) | | | | スランプ (cm) | 空気量 (%) | 圧縮強度 (N/mm ²) | | |
|--------------|------------|------------|--------------------------|------|-----|------|--------------|------------|---------------------------|------|------|
| | | | 水 | セメント | 細骨材 | 粗骨材 | | | 1日 | 7日 | 28日 |
| 0 | 40.4 | 40.0 | 182 | 450 | 697 | 1060 | 8.3 | 1.4 | 26.1 | 40.2 | 43.7 |
| 1.0 | 38.2 | 40.0 | 172 | 450 | 707 | 1076 | 8.5 | 1.4 | 36.5 | 45.4 | 49.3 |
| 2.0 | 33.6 | 40.0 | 151 | 450 | 731 | 1108 | 8.1 | 1.2 | 44.7 | 49.8 | 55.0 |
| 3.0 | 31.6 | 40.0 | 142 | 450 | 739 | 1124 | 8.9 | 1.5 | 45.2 | 52.3 | 57.0 |

注) 1日強度: 放冷後気乾、7日および14日強度: 蒸気養生後標準養生

セメント: 普通ポルトランドセメント(密度 3.16g/cm³)、細骨材: 川砂(密度 2.62g/cm³)、粗骨材: 2005A(密度 2.65g/cm³)

蒸気養生条件



取扱い上の注意事項

- 取扱い時には、保護メガネ、保護手袋等、保護具を着用してください。
- 目に入った場合は、清澄な水でよく洗浄した後、ただちに医師の手当てを受けてください。
- 服用は絶対に避け、万一誤飲した場合には胃の内容物を吐かせ、速やかに医師の手当てを受けてください。
- 作業後は、手指や製品に触れた部分を水でよく洗浄してください。
- 詳細な内容が必要な場合は、当社の安全データシート(SDS)をご覧ください。

荷姿

- バルク

竹本油脂株式会社

| | | | | |
|--------|-----------|---|------------------|------------------|
| 本社・研究所 | 〒443-8611 | 愛知県蒲郡市港町 2-5 | TEL.0533-68-2118 | FAX.0533-68-1339 |
| 東京営業所 | 〒104-0032 | 東京都中央区八丁堀 3-20-5 S-GATE 八丁堀 3F | TEL.03-3553-6912 | FAX.03-3553-6920 |
| 大阪営業所 | 〒541-0054 | 大阪府大阪市中央区南本町 4-5-20 住宅金融支援機構・矢野ビル 9F | TEL.06-6243-3306 | FAX.06-6243-3347 |
| 九州営業所 | 〒812-0013 | 福岡県福岡市博多区博多駅東 2-8-10 東福第三ビル 2F | TEL.092-431-4355 | FAX.092-473-8605 |

●このカタログに記載の商品はことわりなく仕様や取り扱いを変更する場合があります。
●ここに記載された事項は、弊社での標準的な試験に基づくデータであり、現場での多岐にわたる条件下での性能を保証するものではありません。